

令和4年度（2022年度）

宝塚市水道事業会計決算

宝塚市上下水道局



## 目 次

1. 決算の概要	.....	1
2. 人口及び戸数	.....	1
3. 水量	.....	1
4. 企業債	.....	1
5. 決算の詳細	.....	2
6. 主要施策	.....	4
7. 管路等の耐震化の状況	.....	6
8. 主な経営数値	.....	7
9. 主な水道施設の一覧と職員の配置状況	.....	8

## 1. 決算の概要

令和4年度は収益合計4,374,239千円に対し、費用合計4,841,100千円となり、466,861千円の純損失が生じました。令和3年度と比較すると、純損失額は133,169千円増加しています。純損失額増加の主な原因は、収益としては人口減少等による給水収益の減少や開発の減少による分担金の減少、費用としては電力料金の高騰による動力費の増加や川下川ダムの濁水による受水費の増加です。令和元年度から4年連続の赤字となり、令和4年度末の未処分利益剰余金は370,785千円まで減少し、令和5年度に未処理欠損金が生じる可能性があります。

資本的収入及び支出としては、建設改良費1,950,613千円に対して、1,181,100千円の企業債借入を行いました。

## 2. 人口及び戸数

令和4年度末の給水人口は230,437人で前年度比1,492人の減少となっているのに対し、給水戸数は106,882戸で前年度比485戸の増加となっています。人口が減少する一方、世帯数は増加傾向が続いています。

	給水人口（人）	前年度比（人）	給水戸数（戸）	前年度比（戸）
平成30年度	234,272	△348	104,565	652
令和元年度	233,933	△339	105,377	812
令和2年度	233,194	△739	106,115	738
令和3年度	231,929	△1,265	106,397	282
令和4年度	230,437	△1,492	106,882	485

## 3. 水量

令和4年度末の有収水量は22,941,541<sup>m</sup>で前年度比401,024<sup>m</sup>の減少となっています。令和2年度に新型コロナウイルス感染症の流行による手洗いの増加等により有収水量は増加しましたが、令和3年度から2年連続で減少しています。

	総配水量（ <sup>m</sup> ）	前年度比（ <sup>m</sup> ）	有収水量（ <sup>m</sup> ）	前年度比（ <sup>m</sup> ）	有収率
平成30年度	24,764,780	△77,003	23,211,402	△100,874	93.7%
令和元年度	24,900,171	135,391	23,158,533	△52,869	93.0%
令和2年度	25,475,776	575,605	23,672,643	514,110	92.9%
令和3年度	25,085,008	△390,768	23,342,565	△330,078	93.1%
令和4年度	24,892,695	△192,313	22,941,541	△401,024	92.2%

## 4. 企業債

老朽化した管路等の更新や耐震化工事を継続して実施していることから、企業債残高は増加傾向にあります。

(千円)

	年度当初未償還額	発行額	償還額	年度末未償還額
平成30年度	12,391,675	916,600	476,078	12,832,197
令和元年度	12,832,197	1,751,000	517,987	14,065,210
令和2年度	14,065,210	1,398,300	548,812	14,914,698
令和3年度	14,914,698	649,500	584,560	14,979,638
令和4年度	14,979,638	1,181,100	755,945	15,404,793

## 5. 決算の詳細

### (1) 収益的収入及び支出（損益計算書/税抜）

(千円)

区分	令和4年度	令和3年度	増減	前年度比(%)	備考	
収入	1 営業収益	3,448,348	3,719,060	△ 270,712)	92.7	※1
	(給水収益)	( 3,245,943)	( 3,512,030)	( △ 266,087)	( 92.4)	
	(受託工事収益)	( 17,981)	( 20,672)	( △ 2,691)	( 87.0)	
	(その他営業収益)	( 184,424)	( 186,358)	( △ 1,934)	( 99.0)	
	2 営業外収益	819,700	591,729	227,971)	138.5	※2
	(分担金)	( 90,485)	( 114,241)	( △ 23,756)	( 79.2)	
	(受取利息)	( 417)	( 2,230)	( △ 1,813)	( 18.7)	
	(他会計補助金)	( 253,465)	( 4,942)	( 248,523)	( 5128.8)	
	(長期前受金戻入)	( 460,705)	( 458,854)	( 1,851)	( 100.4)	
	(国庫補助金)	( 3,575)	( 466)	( 3,109)	( 767.2)	
	(雑収益)	( 11,053)	( 10,996)	( 57)	( 100.5)	
	3 特別利益	106,191	183,759	△ 77,568	57.8	※3
	(退職給付引当金戻入益)	( 105,148)	( 0)	( 105,148)	( 皆増)	
(固定資産売却益)	( 0)	( 182,702)	( △ 182,702)	( 皆減)		
(過年度損益修正益)	( 1,043)	( 1,057)	( △ 14)	( 98.7)		
計	4,374,239	4,494,548	△ 120,309	97.3		
支出	1 営業費用	4,630,002	4,473,199	156,803	103.5	※4 ※5 ※6 ※7
	(人件費)	( 741,354)	( 813,256)	( △ 71,902)	( 91.2)	
	(受水費)	( 1,316,789)	( 1,248,438)	( 68,351)	( 105.5)	
	(動力費)	( 301,659)	( 242,712)	( 58,947)	( 124.3)	
	(薬品費)	( 63,395)	( 60,919)	( 2,476)	( 104.1)	
	(修繕費)	( 227,515)	( 220,940)	( 6,575)	( 103.0)	
	(路面復旧費)	( 3,326)	( 3,899)	( △ 573)	( 85.3)	
	(委託料)	( 491,178)	( 455,340)	( 35,838)	( 107.9)	
	(減価償却費)	( 1,235,742)	( 1,238,870)	( △ 3,128)	( 99.7)	
	(その他営業費用)	( 249,044)	( 188,825)	( 60,219)	( 131.9)	
	2 営業外費用	207,900	196,621	11,279)	105.7	※8
	(支払利息)	( 174,252)	( 182,131)	( △ 7,879)	( 95.7)	
	(その他営業外費用)	( 33,648)	( 14,490)	( 19,158)	( 232.2)	
3 特別損失	3,198	158,420	△ 155,222)	2.0		
(過年度損益修正損)	( 3,198)	( 1,977)	( 1,221)	( 161.8)	※8	
(固定資産除却損)	( 0)	( 156,433)	( △ 156,433)	( 皆減)		
(その他特別損失)	( 0)	( 10)	( △ 10)	( 皆減)		
計	4,841,100	4,828,240	12,860	100.3		
当年度純利益	△ 466,861	△ 333,692	△ 133,169	139.9		
繰越未処分利益剰余金	837,646	1,171,338				
未処分利益剰余金	370,785	837,646				
利益処分額(案)	0	0				

※1 (減額の内容) 基本料金減免224,184千円、水量減等41,903千円。

※2 (令和4年度の内容) 基本料金減免に対する一般会計繰入金248,357千円など。

※3 (令和3年度の内容) 新庁舎整備事業に係る土地の売却益。

※4 (減額の理由) 退職給付引当金繰入額の減少など。

※5 (増額の理由) 川下川ダムの渇水により阪神水道企業団からの受水を増量したため。

※6 (増額の理由) 電力料金の高騰のため。

※7 (増額の理由) 小浜浄水場の休日夜間等運転管理の委託を開始したため。

※8 (令和3年度の内容) 旧上下水道局庁舎の解体費用等。

## (2) 資本的収入及び支出 (税込)

(千円)

区分	令和4年度	令和3年度	増減	前年度比(%)	備考	
収	1 企業債	1,181,100	649,500	531,600	181.8	
	(配水管整備事業)	( 602,800)	( 542,900)	( 59,900)	( 111.0)	
	(新庁舎建設事業)	( 568,100)	( 78,200)	( 489,900)	( 726.5)	
	(水質試験所整備事業)	( 10,200)	( 28,400)	( △ 18,200)	( 35.9)	
	2 国庫補助金	18,692	471	18,221	3968.6	
	3 他会計負担金	9,532	10,822	△ 1,290	88.1	
	4 工事負担金	28,658	0	28,658	皆増	
	5 貸付金返還金	250,000	0	250,000	皆増	※9
入	6 固定資産売却代金	717	296,683	△ 295,966	0.2	
	7 投資有価証券償還金	0	300,000	△ 300,000	皆減	
	計	1,488,699	1,257,476	231,223	118.4	
	支	1 建設改良費	1,950,613	953,726	996,887	204.5
(事務費)		( 103,425)	( 99,840)	( 3,585)	( 103.6)	
(原水及び浄水施設費)		( 39,045)	( 56,107)	( △ 17,062)	( 69.6)	
(送水及び配水施設費)		( 1,079,076)	( 664,720)	( 414,356)	( 162.3)	※10
(営業設備費)		( 729,067)	( 133,059)	( 596,008)	( 547.9)	※11
2 企業債償還金		755,945	584,560	171,385	129.3	
3 投資		300,000	300,000	0	100.0	※12
計	3,006,558	1,838,286	1,168,272	163.6		
前年度同意債で今年度収入分	16,000	0	16,000	皆増		
資本的収支不足額	△ 1,533,859	△ 580,810	△ 953,049	264.1		

補填財源	損益勘定留保資金	1,107,207	489,235
	消費税資本的収支調整額	152,152	75,575
	当年度同意債の未借入分	274,500	16,000

※9 (令和4年度の内容) 病院事業会計からの貸付金返還額。

※10 (令和4年度の内容) 管路耐震化(更新)事業 682,274千円  
 配水池加圧所耐震化(更新)事業 35,925千円  
 配水池統廃合事業 200,002千円  
 配水池加圧所機械設備等更新事業 8,360千円 など

※11 (令和4年度の内容) 新庁舎整備事業 661,582千円 など

※12 (内容) 令和3年度、令和4年度とも下水道事業会計への貸付金。

## 6. 主要施策

### (1) 施設改良・更新に関する取組

#### ① 管路耐震化（更新）事業 682,274千円

管路更新・耐震化計画に基づいて、老朽化した管路の更新・耐震化を実施しました。

財源（千円）	
企業債	602,800
国庫補助金	
他会計負担金	9,532
工事負担金	28,658
自己財源	41,284

場所	内容
武庫山1丁目外	ダクタイトル鑄鉄管、施工延長 L=1,119m
小林4丁目外	ダクタイトル鑄鉄管、施工延長 L=515m
伊子志2丁目外	ダクタイトル鑄鉄管、施工延長 L=320m
泉町	ダクタイトル鑄鉄管、施工延長 L=602m
ゆずり葉台3丁目外	ダクタイトル鑄鉄管、施工延長 L=1,314m ステンレス鋼管布設工、施工延長 L=52m
美座2丁目外	ダクタイトル鑄鉄管、施工延長 L=221m

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



#### ② 配水池加圧所耐震化（更新）事業 35,925千円

配水池・加圧所の耐震化（更新）に向けた業務委託を実施しました。

財源（千円）	
企業債	0
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	35,925

場所	内容
米谷下配水池、桜台中配水池、桜台上配水池、中山台加圧所	配水池・加圧所耐震（二次） 診断調査業務委託
高台下配水池	高台下配水池更新設計業務委託

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



#### ③ 配水池統廃合事業 200,002千円

新北畑加圧所を整備するための用地を購入し、基本設計業務を委託しました。

※令和5年度借入

財源（千円）	
企業債※	152,800
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	47,202

場所	内容
千種1丁目外	武庫川右岸地区送配水施設基本設計業務委託
野上4丁目	用地購入（面積 1,203.21㎡）

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



④配水池加圧所機械設備等更新事業 8,360千円

阪水系統（阪神水道企業団から受水している配水池・加圧所の系統）の遠方監視設備を整備するための詳細設計を実施しました。

財源（千円）	
企業債	0
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	8,360

場所	内容
新庁舎中央監視室、配水池10カ所、加圧所6カ所	遠方監視設備更新詳細設計業務委託

予算：資本的支出＞建設改良費＞送水及び配水施設費



⑤新庁舎整備事業 661,582千円

耐震性の低い旧庁舎に代えて新庁舎を整備しました。新庁舎は2階建て鉄筋コンクリート造。東側に上下水道局、西側には市長事務部局を配置しています。上記金額は上下水道局の持ち分です。

財源（千円）	
企業債	568,100
国庫補助金	18,692
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	74,790

予算：資本的支出＞建設改良費＞営業設備費



(2) 安心安全に関する取組

①浄水場水処理設備補修事業 22,793千円

惣川浄水場水処理設備の補修を実施しました。

財源（千円）	
企業債	0
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	22,793

場所	内容
沈殿池 濾過池	汚泥掻寄機の補修 表洗装置の補修

予算：：収益的支出＞営業費用＞原水及び浄水費



(3) 民間活用に関する取組

①小浜浄水場休日夜間等運転管理業務 27,192千円

浄水場運転管理、巡視及び同浄水場系統配水池等の遠方監視の民間委託を実施しました。

財源（千円）	
企業債	0
国庫補助金	0
他会計負担金	0
工事負担金	0
自己財源	27,192

予算：：収益的支出＞営業費用＞原水及び浄水費



## 7. 管路等の耐震化の状況

### (1) 基幹管路の耐震化率（口径150mm以上の管路を対象）

導水管、送水管、配水管（口径150mm以上）のうち耐震性のある材質と継手（管の接続部）により構成された管路延長の割合です。道路管理者等との調整や現場状況及び事業費の増加等により工事の進捗が遅れていますが、今後は、事業実施体制の強化を図り、管路更新・耐震化計画に基づいて着実に実施します。

（基幹管路延長 L=348,044m）

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
目標値 (%)	17.8	20.7	23.6	26.5	29.4
実績値 (%)	13.6	14.4	15.4	16.2	16.9

### (2) 管路耐震化率（全管路対象）

管路のうち、耐震性のある材質と継手（管の接続部）により構成された管路延長の割合です。道路管理者等との調整や現場状況及び事業費の増加等により工事の進捗が遅れていますが、今後は、事業実施体制の強化を図り、管路更新・耐震化計画に基づいて着実に実施します。

（全管路延長 L=812,974m）

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
目標値 (%)	10.1	11.3	12.6	13.8	15.1
実績値 (%)	9.6	10.4	11.1	12.1	12.7

### (3) 配水池の耐震化率

配水池のうち、耐震化がなされている施設の容量の割合です。容量の小さい配水池や加圧所の工事を実施していたため目標に達していませんが、今後は、容量の大きい配水池の工事を計画しています。

（配水池数 48カ所）

		平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
耐震化済箇所数（カ所）		11	11	12	12	13
耐震化率 （容量比）	目標値 (%)	52.2	52.2	52.2	52.2	55.5
	実績値 (%)	45.5	45.5	47.0	47.0	49.1

### (4) 加圧所の耐震化率

加圧所のうち、耐震化がなされている施設能力の割合です。予定していた耐震工事や更新工事を行い、耐震化率は向上しています。今後も引き続き事業を着実に実施します。

（加圧所数 30カ所）

		平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
耐震化済箇所数（カ所）		11	11	12	12	13
耐震化率 （能力比）	目標値 (%)	24.1	24.1	25.6	25.6	25.6
	実績値 (%)	19.1	19.1	28.9	28.9	32.8

※ 目標値は水道事業経営戦略に掲げた数値です。



## 8. 主な経営数値

### (1) 経常収支比率

経常費用が経常収益によってどの程度まかなえているかを示す指標です。100%で経常費用と経常収益が均衡、100%未満では損失が発生しています。どの年度も100%を下回っており、安定した経営を実現できているとは言えない現状です。この問題等について、令和3年11月から、上下水道事業審議会で審議していただき、令和5年4月に答申を受け取りました。

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
経常収支比率 (%)	97.3	95.3	93.4	92.3	88.2

### (2) 純利益及び未処分利益剰余金

当年度純利益は令和元年度から4年連続でマイナスです。その累積額である未処分利益剰余金は、令和5年度にはマイナスとなる見込みです。水道事業経営戦略中間見直しでは、令和7年度に欠損金が生じる予測でしたが、電気料金の高騰による動力費の増加や川下川ダムの渇水による受水費の増加等により2年早まる見込みとなっています。

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
当年度純利益 (千円)	458,904	△974,361	△290,930	△333,692	△466,861
未処分利益剰余金 (千円)	2,436,630	1,462,269	1,171,338	837,646	370,785

### (3) 現金預金残高

現金預金残高に大口定期等と他会計貸付金を加算した合計額は、4,357,797千円（令和4年度末）となり、前年度比較で403,516千円減少しています。2年連続の減少となっています。

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
現金預金残高 (千円)	4,035,887	3,778,605	4,030,269	3,541,313	3,087,797
大口定期等 (千円)	1,300,000	800,000	300,000	0	0
他会計貸付金 (千円)	620,000	620,000	920,000	1,220,000	1,270,000
合計 (千円)	5,955,887	5,198,605	5,250,269	4,761,313	4,357,797

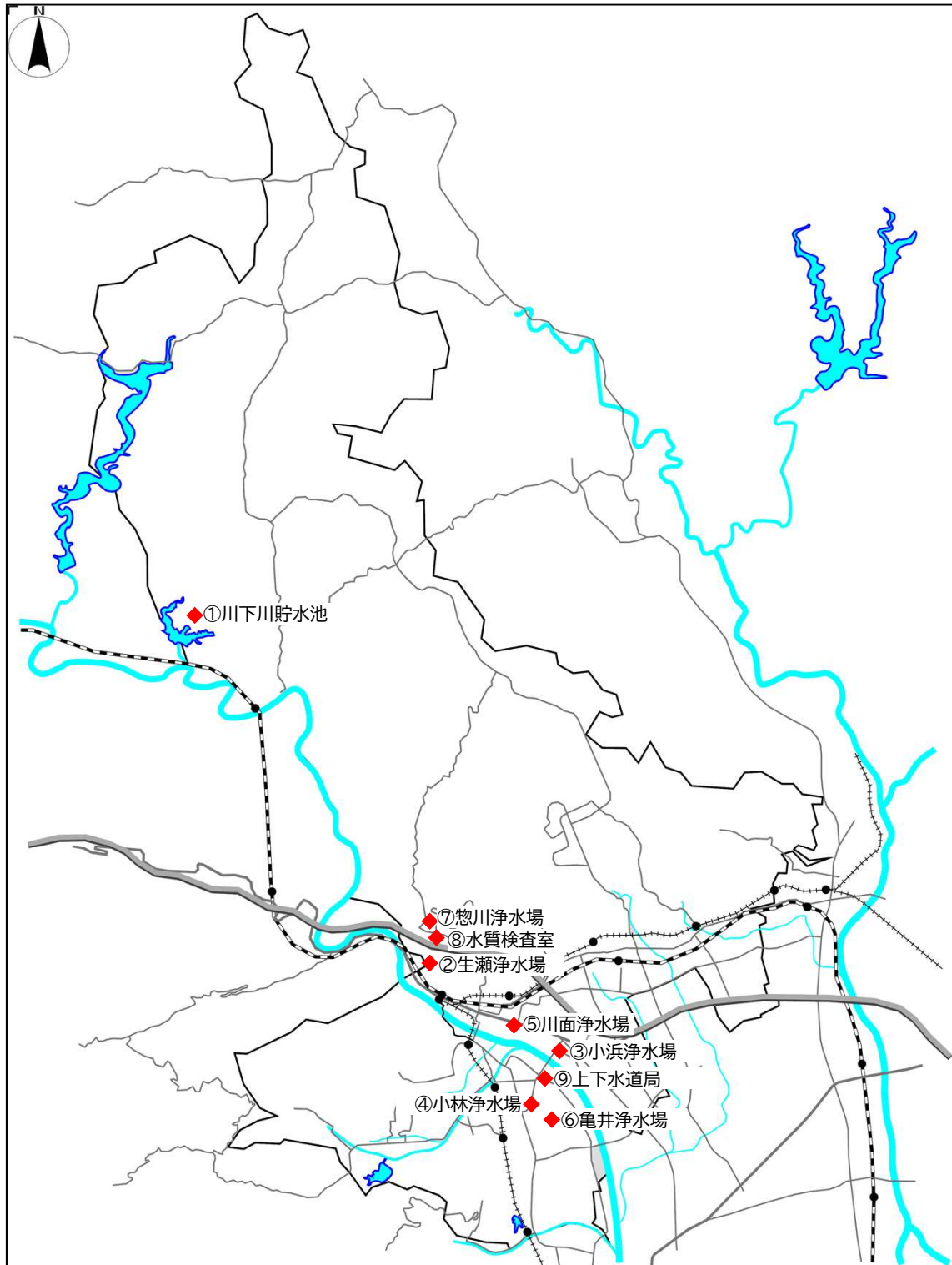
### (4) 給水原価及び供給単価

供給単価は1<sup>m</sup>あたりの平均収益、給水原価は1<sup>m</sup>の水道水を作るのに要する費用です。すべての年度で給水原価が供給単価を上回っています。

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
供給単価 (円)	151.8	152.3	131.0	150.5	141.5
給水原価 (円)	176.8	175.3	165.2	179.5	190.0
差引 (円)	△25.0	△23.0	△34.2	△29.0	△48.5

## 9. 主な水道施設の一覧と職員の配置状況

### (1) 水道施設位置図



## (2) 職員の配置状況

令和5年3月31日現在

	施設名	所在地	職員の配置	備考
①	川下川貯水池	玉瀬字イズリハ～ 神戸市北区道場町 生野	0人	
②	生瀬浄水場	西宮市生瀬東町4番 1号	業務委託	浄水池及び送水ポンプのみ稼動。
③	小浜浄水場	小浜3丁目5番20号	浄水課 7人(7人)	
④	小林浄水場	亀井町1番23号	0人	浄水停止。
⑤	川面浄水場	旭町3丁目92番地	0人	浄水池及び送水ポンプのみ稼動。小浜浄水場職員が管理。
⑥	亀井浄水場	亀井町9番46号	0人	浄水停止。
⑦	惣川浄水場	すみれが丘4丁目 2番1号	浄水課 13人(13人)	
⑧	水質検査室	すみれが丘4丁目 2番3号	水質検査室 6人(6人)	
⑨	上下水道局	東洋町1番3号	上下水道事業管理者 1人(1人) 上下水道局長 1人(1人) 経営管理部長 1人(1人) 施設部長 1人(1人) 阪神水道企業団派遣 1人(1人) 総務課 10人(8人) 経営企画課 4人(3人) 浄水課 7人(7人) 工務課 26人(26人) 給排水設備課 15人(10人) 下水道課 14人(0人)	

( )内は、うち水道事業会計職員 合計85名